

笑しらかわ顔



スポーツを通じて心身の健全な育成と

明るいまちづくりを推進しよう

NPO法人白河市体育協会が体育施設 指定管理を受けて

白河市体育協会 会長 櫻井 和朋



今年度総会は、平成27年5月15日(金)に、白河市文化センターで行われました。席上、平成27年度の新事業として、「スポーツ施設の管理運営受託に係る事業」が提案され、その予算と共に、全会一致で原案通り可決されました。

これは、白河市中田の「白河市総合運動公園」及び、白河市白坂の「白河市しらさかの森スポーツ公園」の各施設（陸上競技場、プール、テニスコート、野球場、体育館など）を年間を通して管理運営する事業です。従来は市が直接市職員を配置し、管理、運営していたものですが、これらを民間に委託しようとする制度です。一般に「指定管理者制度」といいます。

市としては、職員減、経費の削減が計られ、請け負った民間側には、利用者のニーズに対応しながら、より柔軟な発想で、施設利用の多様化、活性化が期待されます。

この事業は、従来「NPO法人しらかわスポーツ施設利用者会」が行っておりましたが、今年度、この「利用者会」と本会が合併し、より強力な組織となり、市より受託したものです。市民の皆様が、より良い環境でスポーツを楽しめるよう細かく配慮したいと思っております。



新会長 須佐氏と日本工機(株)訪問

さて、本協会は、昨年度はNPO法人化、本年度は、指定管理者受託と、次々と新しい展開をしております。会議、研修の数も増加し、役員、会員の皆様には、ご協力、ご理解いただき感謝しております。今後もよろしくお願いいたします。

むすびに、今年度、県体協も大巾な役員改選があり、新会長に須佐喜夫氏（県テニス協会会長）が就任、不肖、私も新たに常務理事に選任されました。微力ながら「スポーツふくしま」の確立に努めたいと存じます。

NPO法人白河市体育協会 平成27年度通常総会が開催された

平成27年度事業計画

1 事業実施の方針

平成27年度は、スポーツ教室・市民総合体育大会・スポーツフェスティバル等を中心事業とし、市民の健康増進及び体力・競技力向上を図るとともに、生涯スポーツの推進を図る。

また、隔年に友好都市交流事業を行い、スポーツで桑名市・行田市との友好関係を深め、市内に留まらず幅広い活動を目指す。

白河地域の活性化に関するイベントに参加して、親睦や交流の中で連携を深め活性化の支援をしたい。

白河市総合運動公園及び白河市しらさかの森スポーツ公園の管理、運営を年間にわたり業務を行う。

自主事業等について調査研究を行い、取り組めるものについて実施していきたい。

ホームページの活用による各施設使用状況等、更なる情報提供を実施していきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日 時	実施予定場 所	従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲及び 予定人数	支 出 見込み額 (千円)
スポーツの普及・振興に係る事業	スポーツフェスティバル	10月12日 (体育の日)	中央体育館	9名	白河市内 一般市民450名	915
	加盟団体助成事業	7月	-	-	加盟競技団体 27団体 3支部体育協会	2,124
	大会出場助成事業	9月～ 翌年3月	-	-	国民体育大会 出場者	725
スポーツ競技会、講習会その他各種事業の実施及び指導と援助に係る事業	市民総合体育大会	5月～10月 翌年2月	中央体育館ほか	9名	白河市内 一般市民1600名	1,605
	スポーツ教室	4月～ 翌年3月	中央体育館ほか	9名	白河市内 一般市民400名	1,605
	イベント開催時の協力参加	4月～ 翌年3月まで	白河市内	9名	参加申し込み者	0
スポーツに関する功労者等の表彰に係る事業	NPO法人 白河市体育協会 表彰式	2月	白河市文化センター	9名	100名	805
スポーツに関する調査・研究及び情報・資料収集並びに広報に係る事業	地区スポーツ懇談会	4月	表郷地区 大信地区 東地区	9名	30名	0
	女性委員会 視察研修	6月	茨城県	2名	25名	0
スポーツ施設の管理運営受託に係る事業	公園管理運営 年間を通しての管理運営	4月～ 翌年3月まで	白河市総合運動公園、白河市しらさかの森スポーツ公園	9名	施設利用者	78,732

NPO法人白河市体育協会 指定管理施設一覧

◇白河市総合運動公園（しらかわかタールスポートパーク）の施設

- 市民プール
 - 1人1回（2時間）につき 大人100円・高校生50円・小中学生20円・幼児無料
- 陸上競技場（3種公認）
 - 1人1時間につき 一般100円・高校生以下50円
 - 1団体1時間につき 一般1,080円・高校生以下540円
 - 会議室（電気代、冷暖房費込）1時間540円
 - シャワー（3分）100円
- 中央体育館（アリーナ使用料）
 - 個人利用の場合
 - AM9からPM5まで 1時間につき 一般50円・高校生40円・中学生以下30円
 - PM5からPM9まで 1時間につき 一般70円・高校生50円・中学生以下40円
 - 団体利用の場合（1団体あたり）
 - AM9からPM5まで 1時間につき 一般、全館利用640円・半館320円
 - PM5からPM9まで 1時間につき 一般、全館利用970円・半館480円
 - AM9からPM5まで 1時間につき 高校生以下、全館利用320円・半館160円
 - PM5からPM9まで 1時間につき 高校生以下、全館利用480円・半館240円
 - ※土・日・祝日利用の場合
 - AM9からPM5まで 1時間につき 一般、全館利用860円・半館430円
 - PM5からPM9まで 1時間につき 一般、全館利用1,290円・半館640円
 - AM9からPM5まで 1時間につき 高校生以下、全館利用430円・半館210円
 - PM5からPM9まで 1時間につき 高校生以下、全館利用640円・半館320円
 - 照明使用料
 - 半灯（アリーナ全館利用時）1時間につき 1,080円
 - 一部灯（アリーナ半館利用時）1時間につき 540円
 - ステージ照明 1時間につき 270円 観客席照明 1時間につき 540円
 - トレーニング室
 - AM9～PM9まで 1時間につき 100円
- 国体記念体育館（アリーナ使用料）
 - 個人利用の場合 中央体育館と同じです
 - 団体利用の場合（1団体あたり）
 - AM9からPM9まで 1時間につき 一般、全館利用640円・半館320円
 - AM9からPM9まで 1時間につき 高校生以下、全館利用320円・半館160円
 - 照明使用料
 - 半灯 1時間につき 540円
- アナビススポーツプラザ
 - フットサルコート（照明代、冷暖房代、休憩室含む）
 - AM9からPM5まで 1時間につき 一般・高校生 5,400円
 - PM5からPM9まで 1時間につき 一般・高校生 6,480円
 - AM9からPM5まで 1時間につき 小・中学生 2,700円
 - PM5からPM9まで 1時間につき 小・中学生 3,240円
 - エクササイズルーム
 - AM9からPM9まで 1時間につき 個人利用 210円 専用（貸切り）2,160円
 - 会議室（電気代、冷暖房代含む）
 - AM9からPM9まで 1時間につき 540円
 - キッズルーム（幼児のみ、保護者同伴）
 - AM9からPM5まで 無料
- テニスコート（A・B）
 - AM9からPM9まで 1時間につき 一般 320円（1面につき）
 - AM9からPM9まで 1時間につき 高校生以下210円（1面につき）
 - 照明使用料
 - 1面（白河市・西白河郡在住） 1時間につき 640円
 - 1面（上記以外に在住） 1時間につき 860円
- パークゴルフ
 - 東コース（9ホール）西コース（9ホール）無料（用具の貸出しあり）

◇しらかかの森スポーツ公園の施設

- テニスコート
 - ・1コート 1時間につき 一般 320円 高校生以下 210円（12コート）
 - ナイター 1コート1時間につき 640円（市内に居住するもの）
- 多目的広場
 - 1時間につき 全面210円 半面100円
- グリーン及びブルースタジアム
 - 入場料を徴収しない場合 1時間につき 540円
 - 入場料を徴収する場合 1日につき最高入場料の200人分
 - ナイター使用 1時間につき 半灯 6,800円（市内に居住するもの）

白河市社会体育活動における白河市スポーツ推進委員の活動について

白河市スポーツ推進委員長
五十嵐 啓介



白河市体育協会がNPO法人を取得後、広報誌が第3号の発行に至りましたこと、誠におめでとうございます。

法人格を取得し、スポーツ施設の管理委託事業も開始し、従来の種目単協の集合体にとどまらず、市民に向け幅広い内容の社会体育活動が求められる事となりましたが、それは、まさしく私共スポーツ推進委員の目的でもあります。

白河市スポーツ推進委員の構成は、体育協会加盟単協推薦24名、総合型クラブ推薦11名、地区体協推薦13名、その他9名の57名（男39名、女18名）で構成されております。

白河市の各種スポーツ行事の補助、支援は当然として、小学校での親子ニュースポーツ教室や、各種研修会に参加し、研鑽に努め、それぞれの持ち場でスポーツ推進委員として活動しております。

8月7日も福島県のスポーツ振興政策や指導者研修会伝達講習を実施しております。

単協推薦の委員も、種目の技術指導のみならず、スポーツ推進委員としての自覚をもって活動してもらっております。

障害者スポーツの管轄が厚労省から文科省に移管され、益々、地域のスポーツ文化のコーディネータとしての役割が求められておりますが、まだまだ力不足で、貴協会と連携し、白河市社会体育の充実に努めていきたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

大信地区でのスポーツ活動交流について

NPO法人白河市体育協会副会長 須藤 政子



旧白河市、大信、東、表郷が合併して10年、NPO法人白河市体育協会として実際にひとつになってやっと1年、ここにたどりつくまで10年の歳月を要しました。私の住む大信地区では、大きなお祭りや行事など地区全体が集まって何かをするという事が少なく、スポーツをすることが、隣近所の人、隣部落の人、地域の人と交流もてる唯一の手段です。合併すると聞いたときは、これらの唯一の手段も全て無くなってしまうのか、大変不安でありました。

しかし、会議に参加し体制を理解していくと、私が思い描いていたこととは真逆で、地域の伝統あるスポーツ行事は残して継続できることが分かり安心いたしました。実際に大信地区では、男女に限らず子どもから大人までバレーボールを大好きな人が多く、長年親しまれてきました。また、綱引き大会が毎年行われ、大信地区の3小学校の子供たちの交流の場となり、とても熱い競技となっております。これらの歴史あるスポーツを無くすわけにはいきません。地域スポーツは、行政ありきではなく、自分たちでやっていこうという参加型の体制で行うこと、少なくなってゆく予算ではありますが、継続していくことが大切です。

そして、今までは大信地区として出来るスポーツには限界がありましたが、合併により白河市という大きな枠になったのだから、一市民として市内の大会に参加してもらい、形にとらわれず、スポーツを続けてもらいたいと思います。

今まで自分達で苦勞していた事も、NPO法人白河市体育協会という組織の中で、安心して自分達がやれる事をやり、やりたい事については、相談しながら新しいものを見つけていきたいと思っております。

ご指導、ご鞭撻の方お願いします。



白河の大地から躍動する姿を日本全国へ届けようアスリート魂

福島県立白河高等学校 剣道部

私たち白河高校剣道部は、多くの方々の支えやご指導のおかげで、今年度も含め6年連続でインターハイに出場しております。

全国大会での成績は、女子がベスト8に2回、ベスト16に1回、男子がベスト16に1回となっています。

震災以降は福島県のたくましい強さを全国に示したいと考え、日本一を目指してはおりますが、その道のりは当然ながら簡単ではなく、達成できずしております。目標達成に向けて、毎年12月には全国の強豪高校に北は青森県、南は宮崎県から白河の地に集まっていただけ、福島県の強化を目的に「登龍杯」という錬成会と大会を実施しております。福島県全体も全国レベルの剣道や取り組む姿勢を学び、少しずつではありますが全国との差を埋めつつあると思います。

福島県全体がレベルアップすることが最終的に日本一につながると信じ、自分達だけという考えを捨て、お互いに切磋琢磨していきたくと考えております。この白河の地から高校剣道日本一が誕生できるよう1日1日を大切に精進していきます。

福島県立白河旭高等学校 小林 優香

私達、白河旭高校陸上競技部は、3年生が引退した今、新しい一歩を踏み出そうとしている。

今まで私達は、どんなに辛い練習にも一生懸命取り組んできた。部内の雰囲気や仲も良かったため、さらに頑張ることができた。その結果、トップレベルの大会に出場したり、県で活躍する選手が多かったりした。この先もっと白河旭が活躍するには、さらにお互いの良さを高め合って、切磋琢磨し合える関係へと発展させることが大切となってくると思う。それができれば、練習もより良い内容になると思う。私達の強みである、「チームワーク」と「一生懸命さ」の質を向上させれば、一人一人の能力、そして白河旭のレベルも上がるのではないだろうか。

この目標に向かって、全員がトップレベルの選手になるため、「On your marks」の声とピストル音を合図に、自分達のレーンを走っていきたい。

「私の目標」

白河実業自転車部 主将 鈴木 涼介 (すずき りょうすけ)

私の目標は、インターハイで自分自身の種目優勝と、団体で入賞することだ。この目標を達成するために、私は部活動以外の場面でも、人一倍努力を重ねた。その結果、高校2年の夏にはインターハイで8位に入賞する事ができた。高校1年の時は、大会にも出場できなかった自分が全国の大会で勝負できるとは思ってもいなかった。入賞できたのは、努力だけではなく、私生活での行動も大きく関係していると私は思う。高校に入学してから落ちているごみを拾ったり、日頃から使用しているトイレの掃除などを積極的にするようになった。その結果、タイムや成績なども少しずつ上がっていった。これから行われる全国インターハイに向けて、今までやってきた練習や経験を信じることは勿論、これまでお世話になった方々に感謝し、私が2年生の時に残した結果よりもさらに上の成績を収められるよう、最後の1分・1秒まで諦めることなく、今自分が持てる全ての力を大阪でのインターハイで発揮していきたいと思う。

白河の大地から躍動する姿を日本全国に届けようアスリート魂

白河信用金庫 野球部監督 鐔 貴志

白河信用金庫野球部は昨年、福島県大会において2大会優勝することができた。

数年前までは、県大会出場するも初戦敗退が続いた。県大会で勝てるチームを目指し、「全員で守り勝つ野球」を目標に掲げ、毎週土日、守備中心の練習とバント・エンドラン等の基礎的で地味な練習を反復して行った。その結果、最少失点で抑え、守り勝つ野球がチーム内に浸透した。

県大会参加チームの中でも、選手個人のレベルは決して高くはない。それでも、チーム全員の意識統一を図り目標を掲げ活動することで、チーム内の組織力が向上した。徐々に県大会での勝利数も増え、昨年ついに県大会優勝し東日本大会出場を果たした。東日本大会では全国のレベルを痛感することになったが、チーム内に新たな目標ができた。

私たちは、地域のお客様や当金庫役職員の方々の支えがあり野球ができています。その感謝の気持ちを忘れず、今後は全国大会で勝つチームを目指し活動したいと考えている。

白河弓道会 根本 久美子

高校生の時、弓道を始めインターハイや国体など全国大会に何度か出場しました。

東日本大震災の年は、白河武道館の弓道場が使用できなくなりましたが、白河旭高校の弓道場で練習させていただき、その年の全日本遠的選手権大会で2位に入賞することができました。

このように震災の年はもちろんですが、今までたくさんの方にお世話になりこうして弓道を続けることができ、いつも感謝の気持ちを忘れないようにと思っています。お世話になったみなさんのために直接何かできるわけではありませんが、大会で入賞したりすることで、夢に向かって努力し続ければ何かができるという希望を届けられればと思っています。

これからも弓道を続け、感謝の気持ちを胸にたくさんの大会に出場し良い成績を残したいと思います。

白河市スポーツ少年団の活動状況に関して

白河市スポーツ少年団本部事務局

平成27年度は、計50のスポーツ少年団が登録を済ませ、元気に活動を行っております。

昨年度はおかげさまで永年の活動が認められ、日本スポーツ少年団より『白河市スポーツ少年団』が表彰を受け、優良団体として結成から20年の『大屋スポーツ少年団』が福島県から表彰を受けることができました。これもひとえに地域の皆様の努力の積み重ねとご協力があったからこそその受賞です。心より感謝申し上げます。

さて、現在50近い団体が活動していますが、現状といたしましては子どもの数の減少と共に団員数の減少が問題となっていて、今年度も実際に団員10名以上という登録条件を満たしていない団体がいくつかございました。団員を集めるのが大変だ・・・という声も聞こえてきているのが現状であります。同種目内でのチーム統合を視野に入れながら、基盤を整えつつ活動し発展させていく必要があると考えております。

また、低年齢から特定の種目を行うことによるスポーツ障害も問題視されています。著しい成長過程において子どもが健康に楽しくスポーツを続けていくためにも、指導者は正しい知識を身につけ実践していくことが大切であります。一昨年は、指導者の質の向上を目的としたスポーツ少年団指導者協議会を立ち上げ、先日はテーピング法や多種多様なトレーニング法、熱中症の予防についての講習会等を実施いたしました。さらに多くの指導者の方にこのような場にご参加いただき、さらなる白河市スポーツ少年団の発展とスポーツを通した子供たちの健全な育成へのご協力をお願い申し上げます。

特別寄稿

白河より初めてのオリンピック選手として

NPO法人白河市体育協会副会長 班目 秀雄



(後が班目選手です)

自転車は子供の頃から大好きで、高校では本格的に自転車競技に取り組みたいと思い自転車部に入部しました。当時は一般の道路で練習していましたが市街地を外れると舗装路は無く、唯一舗装路だったのは白棚高速バスの専用道路だけ。練習はバスの時間を見計らって金山までを走っていました。振り返って見ればトレーニングとは言え無い甘い内容で20～40Km位の距離を走っては満足していましたから納得のゆく結果など出せません。何とかして強くなりたいとの思いで本格的に自転車競技にチャレンジするべく日本大学の門を叩きました。先輩や同級生達は全国大会で優勝や上位に入賞した猛者ばかり。入学当時の私は、部で一番弱い選手で練習は

先輩達に付いて行くのが精一杯。なんとか離されまいと必死でした。いきなり高校時代のぬるま湯的トレーニングから大学のハードなトレーニングに変わりましたから、心身共に一大変化でした。自分は耐える事に関しては我慢強く、苦しいトレーニングが続いても途中で根を上げた事は無かったと記憶しています。苦しみに耐えて3カ月・・・苦しみが軽くなり余裕が出てきてトレーニングにも熱が入り、初レースの関東学生選手権大会では1KmTTで1分17秒2の自己ベストを記録し2位に入賞しました。やれば出来ると自信も付き、8月のインカレでは思いもよらず優勝することができました。

当時は東京オリンピック開催が2年後に迫っていて、オリンピック強化チームが編成され強化合宿も実施されていました。私自身意識はしていませんでしたが、2年生のインカレの結果で強化選手に選抜され、東京高尾山麓にあったオリンピックチーム合宿所入りとなった時から強く東京オリンピックを意識し始めました。オリンピック出場という強い決意と意識を持って、ライバル選手達とハードなトレーニングや死に物狂いで練習に取り組んだ結果、オリンピックに出場するという目標は達成出来ました。

この経験はその後の自転車人生に大きな影響を与えました。競輪選手時代のG1制覇やナショナルチームを率いてのアテネオリンピックでの銀メダル獲得、門下生の育成にも生かされています。「やれば出来る」を信念として常にチャレンジし続ける事で不可能を可能にする事が出来たと思っています。



平成27年度NPO法人白河市体育協会賛助会員

昨年度より、財源基盤の確立と強化のために募集させていただいた賛助会員にご賛同とご支援をいただき誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。おかげさまで、ご協力賜りました賛助会費は、本会の事業推進の経費として有効に活用させていただいております。活動を継続しさらに充実させるために、安定的な自主財源の確保が必要になりますので、今後ともよろしくご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《団体会員》

(株) あおき	(有) アルファ	(有) エビナ
(有) 大高重機	会星産業 (株)	NPO 法人カルチャーネットワーク
(有) 桂設計	協業組合白河地方リサイクルセンター	(株) 共和建商
ケンサーチ (株)	県南土建工業 (株)	(株) コウシン
こちや自動車工業 (株)	さくらい	サクラ工業 (株)
(株) サン・ベンディング白河	医療法人社団 慈泉会	(有) 白河衛生社
NPO 法人白河ゴルフ倶楽部	白河信用金庫	(株) シンエイリンクス
(株) 新白河ゴルフ倶楽部	(株) 常陽銀行白河支店	すし酒屋双葉
(株) 鈴木建設	(有) 須藤建設工業	(株) 総合企画
(株) 大東銀行白河支店	大東土建 (株)	高橋自動車工業 (株)
(有) 高山不動産	(有) 忠光自動車整備工場	(有) 田ノ上製作所・白河工場
(株) でんき倶楽部	(株) 東邦銀行白河支店	(株) 中商
日工技研 (株)	日本工機 (株) 白河製造所	日本録機工業 (株) 白河工場
(有) 梅寿	医療法人社団 博英会	(株) ひがし振興公社
(有) 樋口建設	(株) 福島銀行白河支店	福島小松フォークリフト (株)
藤田建設工業 (株)	(株) 松本工務店	(有) 水啓木材
(株) 緑川産業	(有) 村上運動具店白河店	(有) 山田屋旅館
よこむら整形外科クリニック		※他に匿名希望 4団体

《個人会員》

青村 修明 (青村歯科医院)	荒谷 俊彦 (白河競馬フィールドアーチェリーレンジ)	有賀 初子 (愛宕山パークゴルフ場)
今井 令雄	大高 貞男	近藤 寛 (近藤種苗店)
斎藤 和夫	斎藤 慎一	土田 真守
班目 隆雄 (班目整骨カイロプラクティック治療院)	安田 豊	矢吹 幸彦 (矢吹商店)

※他に匿名希望 6名

(平成27年4月1日から平成27年7月31日までにご賛同いただいた方を掲載 五十音順・敬称略)

編集後記

広報誌の第3号の発行となりました。体育協会事務局も「白河市総合運動公園」及び「しらさかの森スポーツ公園」の各施設を管理運営する事業を白河市より委託されることとなり、事務局を中央体育館にかまえて、今までの体育協会事務と指定管理業務を行っております。

2020年に東京オリンピックが決まり、この白河の大地からも、オリンピック選手として、白河の地から出場してくれる選手が現れる事を願いながら今回の発行となりました。

(広報担当：三森一男、事務局 高橋利夫・深谷光男・松崎真由美)